

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 3 年度 第 2 回富士見市庁舎整備検討審議会</p> <p style="text-align: center;">議事録</p>					
日 時	令和 3 年 6 月 2 4 日 (木)		開会	午後 3 時 0 0 分	
			閉会	午後 5 時 1 5 分	
場 所	富士見市役所全員協議会室				
出 席 者	委 員	秋元委員	新井(久)委員	新井(幸)委員	安藤委員
		欠	○	○	○
		池田委員	石川委員	加藤委員	千々和委員
		○	○	○	○
		羽石委員	星野委員	横山委員	吉野委員
		○	欠	○	○
	事務局	総務部 古屋部長 公共施設マネジメント課 平澤課長、舎川主任、本田主任、柴崎専門員			
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者 2 名)				
議 題	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 ・ 第 1 回審議会における意見・質問等に対する回答 (資料 1) ・ 求められる庁舎の機能について (資料 2) ・ 適切な庁舎の整備方法について (資料 2) 4 事務連絡 5 閉 会				
議 事 内 容					
事務局	1 開 会 開会の宣言、資料確認、委員の出席状況 (10 名出席、2 名欠席) と会議成立、傍聴の状況 (傍聴者 2 名) の報告を行った。				

<p>会 長</p>	<p>2 会長あいさつ 第2回審議会の開催に当たり、あいさつを行った。</p> <p>第1回審議会を欠席した石川委員が自己紹介を行った。</p>
<p>会 長</p>	<p>3 議 事 ・第1回審議会における意見・質問等に対する回答（資料1）</p> <p>会長の進行で、「第1回審議会における意見・質問等に対する回答」について事務局に説明を求めた。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料1に基づき、説明を行った。（15分程度）</p>
<p>会 長</p>	<p>事務局から説明のあった内容について、委員に質問・意見を求めた。</p>
<p>委 員</p>	<p><以下、質疑・意見等> 実際のコンクリート強度については、平成18年から上がっているのではないかと考える。 コンクリート強度の低下要因について、ひび割れの影響としては少し数値が大きく出すぎている印象もあるが、東日本大震災による影響もあり得ると思うので、今回示していただいたものとしては、これでいいと思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>志木市の例も出ているが、他に何か意見のある方はいるか。</p>
<p>委 員</p>	<p>志木市の基礎工事については大変参考になる。例えば、設計書などを一式もらうことはできないのか。概要のようなものでも構わないが他市の事例は、判断の参考になるのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>志木市の事例ということであれば、建替えとなった場合の話かと思う。志木市をはじめ県内でも新庁舎を建設している事例はあるので、そのような事例の概要であれば、お示しできると思う。 また、より専門的な資料等については、お示しできる範囲内になってしまうが、議論に応じて要望に応じていきたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>具体的な内容となった場合には、先方がどれだけの資料提供が可能かという課題もあるが、提供していただけるのであれば参考になるかもしれない。</p>

	<p>・求められる庁舎の機能について（資料２）</p>
会 長	<p>庁舎の現状と課題に対して、求められる庁舎の機能とは何かという視点で事務局に説明を求めた。</p>
事務局	<p>資料２（P２～P１６）に基づき、説明を行った。（１５分程度）</p> <p>（補足説明）</p> <p>「求められる庁舎の機能」については、改修か建替えかの比較検討を行うに当たって、本来求められる機能として考えられるもので一般的と思われるものを整理したものであり、改修か建替えかの整備方法の方向性が定まった際には、未来を見据えた視点を踏まえて改めて精査する必要がある旨を説明した。</p>
会 長	<p>事務局から説明のあった内容について、委員に質問・意見を求めた。</p>
委 員	<p><以下、質疑・意見等></p> <p>実際にユニバーサルレイアウトなどを採用し、効率化が図られたという事例はあるのか。</p> <p>また、私事ではあるが、家族が亡くなった際に様々な手続きが必要となり、複数の窓口をまわり手続きを行ったが、本来受けられたはずの助成が１年間受けられなかったことがある。</p> <p>そうしたことを踏まえると、業務がどのように関連しているのかということを職員が十分に分かっている必要があり、窓口を隣接・集約したから問題が解決するというのではないと思う。</p> <p>資料や説明では、求められる機能として空間の話を挙げているが、それだけが問題ではないと感じる。</p>
事務局	<p>新座市や深谷市などで実際にユニバーサルレイアウトを採用し、効率化を図っていると聞いている。</p> <p>また、窓口を隣接・集約したから問題が解決するわけではないというご意見については、職員のレベル、課と課の連携、業務上のつながりの部分かと思う。貴重なご意見として受け止めさせていただき、改修や建替えとなった際には、空間としてのレイアウトにおいても工夫はしていきたい。</p>
委 員	<p>将来どんな人が市役所を利用するのかと考えたときに、住民票などはコンビニで受け取る人が増えることが想定され、簡単な手続きのために来庁する人は減るかもしれないが、一切市役所に人が来なくなるということはないと思う。</p>

	<p>例えば、親が亡くなったときに手続きが多岐にわたるのではないかと思う。何かがあったときに、どのような手続きをしなければならないのか等の相談を受けることも市役所の役割として考えられるのではないか。</p> <p>こういうときは市役所に相談すればいいという状況をつくることができれば、自分自身も市民として、市役所っていいなと感じることができる。</p>
委員	<p>まさしくコンシェルジュのようなものかと思う。</p>
委員	<p>細かい話かもしれないが、市役所で耐震相談として市民の相談を受けたことがある。そのとき、相談スペースが暗くて狭かったので、図面も見えづらく閉鎖的な印象を受けた。相談する市民の方も良い印象を抱かないのではないか。</p>
会長	<p>先ほどの事務局の説明では、相談スペースのプライバシー確保の話があったが、それだけではなく、スペースの狭さや暗さといった課題もあるという話かと思う。</p>
委員	<p>各種相談をはじめ、全てを市役所で行うということではなく、公民館で行うなどの工夫も必要だと思う。どこで線を引くかという判断も必要になると考える。</p>
事務局	<p>耐震相談については一例だと思うが、福祉関係の相談においてもスペースの狭さやプライバシーの確保が不十分であるという課題は認識している。</p>
会長	<p>先ほどの意見も相談に関するものであったように、相談を受ける場所というのは、市役所の機能として必要ということだと思う。</p>
委員	<p>ZEBに関連してだが、電源を庁舎だけで賄うのかどうかというところは大きいと考える。この近隣に企業誘致の話もあると聞いているが、ZEB等の実現を目指すのであれば、庁舎単独ではなく、周辺施設と連携して有事の際には電源を供給してもらうといった工夫も経済的観点から必要と思う。</p> <p>これから企業を誘致するというのであれば、そのようなことも可能ではないかと考える。</p>
委員	<p>太陽電池パネルなどは、短期で見ると地球にやさしいエネルギーで良いものだと思うが、劣化した場合のことを考えると安易に導入することはやめた方がよいのではないか。長期的にみれば、ランニングコ</p>

<p>委員</p>	<p>ストが将来の負担になるという見方もできると思うので、慎重に考えるべきだと思う。</p> <p>ある自治体の職員と仕事に対する意識について話をしていたときに、職員が「やらされている感」を感じているのではないかという話が出た。本来、職権を与えられて、あるべき市の姿を実現していくことが市の職員の仕事だと思うが、国や県から様々な仕事を求められてくる中、仕事をこなすという意識になり、やがては仕事を抱え、対応できなくなっていくという話であった。</p> <p>これを求められる庁舎の機能ということで考えたときに、直接働く職員にとって、創造性が発揮できるような空間というものも観点として必要なのではないかと考える。</p> <p>ただ決まった場所で働くということであれば、在宅勤務でもできるかもしれないが、職員が庁舎に集まり情報共有を行いながら、市民サービスのために創造的な活動をするという視点で、働きやすい場所といった機能も建物として必要だと思う。</p> <p style="text-align: center;">・適切な庁舎の整備方法について（資料２）</p>
<p>会長</p>	<p>第３回審議会での中間答申に向け、庁舎の整備方法についての方向性を検討・審議するため、事務局に適切な庁舎の整備方法についての説明を求めた。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料２（Ｐ１７～Ｐ２４）に基づき、説明を行った。（１５分程度）</p>
<p>会長</p>	<p>事務局から説明のあった、適切な庁舎の整備方法について、次回の会議内容について、委員に質問・意見を求めた。</p>
<p>委員</p>	<p><以下、質疑・意見等></p> <p>推定耐用年数を迎えるまでの期間が１０年を切っているということだが、改修の目的は耐用年数まで持たせることなのか、それともそれ以上に持たせるというものなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>推定耐用年数以上、建物を維持するようなかたちでの改修を想定している。</p>
<p>委員</p>	<p>では、改修後、限度を過ぎた段階で再び建替えの検討に入ることか。</p>
<p>事務局</p>	<p>耐用年数が過ぎた段階で、建替えの議論をすることになると考える。</p>

委員	推定耐用年数が示されているが、これは例えば不動産の鑑定評価等に基づく専門家の判断によるものか。
事務局	平成30年度に実施した業務委託による庁舎の劣化状況等の調査の結果、示されたものである。
委員	そうすると専門家の目線での判断という認識でよいか。
事務局	推定ではあるが、そのとおりである。
委員	<p>改修か建替えかの結論を出す上で、関係者となる方の意向や意見を参考にすると考える。</p> <p>市長や市議会、町会などの地域住民、労働組合などの意見を事前に確認し、示してもらうことはできないか。</p> <p>また、庁舎を建設している事例があると思うが、こうした事例の視察はできないか。</p> <p>それから、建築の専門ではないので力学的なところは分からないが、建替えるならば、新庁舎の低層階は鉄筋コンクリート造で、中層部分等に県産の木材を活用した構造にすることはできないか。木材を使用することで、CO2削減にも寄与するのではないか。</p>
会長	市長や議会の意見を聞きたいという話があったが、審議会は市長から諮問を受けて、市長に対し答申するという組織であり、市長はそれを踏まえつつ行政としての政策案をまとめ、議会に対して提案するというのが基本的な流れである。事前に意見を聞くというのは、順序が異なると考える。
副会長	審議会は決定機関ではなく、市長から委嘱され、責任をもって検討・審議した結果を市長に答申するものだが、その答申内容が行政の決定というわけではない。その後、場合によっては議会で議論するというようなプロセスを踏むことになる。
委員	<p>前回会議での私の意見は、庁舎の建替え等に当たって他の自治体で市民の意識調査を実施している例があるので、改修か建替えかの判断における一つの指標になるかと思い、富士見市における調査の有無について確認したものである。</p> <p>審議会として答申した後、後々市民とのトラブルにならないように意識調査はあった方がよいのではないかという意味を含めて確認させていただいた。</p>

会 長	<p>行政の長である市長から諮問を受けて審議し、答申するという審議会の基本的な性格から逸れたことになるため、市長等に事前に意見を聞くことは難しい。</p>
委 員	<p>審議会だけで意見を取りまとめるということは分かった。 ちなみに、事務局はどの程度市長の意向を把握しているのか。</p>
事務局	<p>基本的には、会長と副会長から話のあったとおりと考えており、今回、市長から諮問があったように、庁舎の整備方針について審議していただきたいというのが市長の意向と認識している。</p> <p>また、審議会は条例に基づいて設置するものだが、今年の3月の議会で審議会の設置に関する条例の議決をいただくことで、庁舎の整備について審議する審議会を設置することを議会にも認めていただいている。</p> <p>庁舎の整備に係るものについては、最終的には市長が判断することになり、内容によっては議会の議決をいただくことになると考えている。</p>
委 員	<p>改修費用をかけても建替えの先延ばしになるだけなのではないかと感じた。</p> <p>抽象的・意識的な話になってしまうが、新しい庁舎で働く自治体職員と古い庁舎で働く自治体職員では、来庁者への対応が全然違うと感じたことがある。新しい庁舎の自治体では、案内も丁寧で窓口での対応も迅速だったのに対し、富士見市ということではないが、古い庁舎の自治体に伺ったときには、若い職員だったが、あまり対応がよくなかった。</p> <p>見ていると私以外の人にも同じような対応であり、何故そのような気持ちで働いているのだろうと思ったことがある。</p> <p>また、隣のふじみ野市では、庁舎を建替えるのではなく、改修することになり、様々な工夫が見られたがやはり不便な部分があった。</p> <p>そのため、ここで建替えを先延ばしするよりは、折角このように審議会を開催しているので、この審議会として建替えの方向にもっていくことができれば良いと感じている。</p>
委 員	<p>建替えに係る概算費用が示されており、用地費等との記載があるが、現庁舎とは別の場所で庁舎を建設できるような市が所有している土地はあるのか。</p>
事務局	<p>建替えの場合は、非常に大きな金額がかかることになるのは間違いない。例えば、駅周辺等の土地を新たに取得するようなことになれば、多額の費用を要することになり、市の財政上も厳しい面があると思う。</p>

	<p>庁舎だけにそれだけ多額の費用を使うことについては、議論が出てくるものと考えられるというのが今の段階での見解である。</p> <p>また、まとまった用地があるのかという点では、現在の市有地を見ると現庁舎と同規模の建物が建つような土地はない。</p>
委員	<p>では、違う場所に建てるということになれば、新たに用地を求めなければならないということか。</p>
事務局	<p>他の用途で利用している市有地ということもあるが、建物を建てるには様々な法律の規制があるので、そうした法律の規制等を満たすことができるのかどうかについては、今後検討していく必要がある。</p> <p>いずれにしても、現時点で市が所有している土地で、空いている土地はない状況である。</p>
委員	<p>これまでの議論を聞いていると建替えの方向で良いと思っているが、建替えに係る莫大な費用をどこから捻出するのかということは考えなければならない。約6.2億円の費用をかけても何年か経って、また建替えの議論をすることになるのであれば、今の段階で建替えの方向性を定めても良いと考える。</p> <p>用地の取得についても庁舎のことだけではなく、まちづくり全体で考えることが重要だと思う。</p> <p>第1次基本構想では、新河岸川から西側は市街化区域に編入することとなっていたと思うが、ららぽーとや産業団地も開発行為で行っている。本来のまちづくりからすれば、市街化区域に編入した方が良いとも思う。こうしたまちづくり全体のことを考えながら、建替えについては考えていった方が良いと感じる。</p>
委員	<p>新庁舎については、どの程度の耐用年数やスペックを見込んでいるのか。それによって、投資すべき金額も変化すると思われ、市民一人当たりの負担も変わってくる。</p>
事務局	<p>公共施設等総合管理方針というものを定めており、その中では鉄骨鉄筋コンクリート造や鉄筋コンクリート造、鉄骨造については目標耐用年数を80年と定めている。</p> <p>20年目を目安に大規模改修を行い、40年後には社会情勢等の変化もあると想定されるため、長寿命化改修ということで大きく手を加え、最終的に80年持たせることを目標として設定している。</p>
委員	<p>木造はどうなのか。</p>
事務局	<p>木造の目標耐用年数は50年に設定している。</p>

委員	<p>法隆寺などを見れば、木造はかなり寿命が長いと言えるため、私は木造を勧めたい。国の補助金も活用できる。</p>
委員	<p>耐用年数を考える際に、耐用年数ギリギリのものにするのか、余裕を持たせるのかという判断もあると思う。</p> <p>例えば、老朽化が進んでいても一応まだ使えるという状態であれば、修繕しながら使用することもできると思うが、今、建替えの方向に舵を切って、今後かかる費用を新しい建物にまわすことができれば、新しい建物のスペックを上げることも可能となり、耐用年数も長い建物とすることができる。</p> <p>そうすることで市民の負担も減り、職員の気持ちや市民サービスも向上するとなれば、建替えの方がリーズナブルかと思う。</p>
事務局	<p>新しい庁舎ということになれば、規模については今後議論をいただくことになる。それなりの構造物を建設するとなれば、当然長い期間使用するというのが基本的な考えになる。</p> <p>60年は最低ラインとして、例えば80年使用しようというのが、公共施設マネジメントの視点での考えになる。</p>
委員	<p>建替えにより市民の経済的負担が増えるのであれば市民に説明する必要がある。資金については、大きな問題であり、判断材料の一つになる。</p>
事務局	<p>先ほども申し上げたが、建替えとなれば多額の費用がかかり、その額は1年で支払えるようなものではない。庁舎については起債による借入をすることになると思うが、これも満額借入ができるわけではないので、別に資金を貯めていく基金ということも一つの考えとしてある。仮に建替えの意思決定がなされても来年度から建替えられるものではなく、建物が建つのは数年先になるので、それまでは基金を活用し、お金を貯めて財政負担の平準化を図ることが考えられる。</p>
委員	<p>国の補助金もあると思うので、積極的に活用できるよう、よく調査・確認した方がよい。</p>
委員	<p>起債については、通常は銀行で引き受けることになるが、返済期間については最長30年、元金均等返済となる。余計な計算かもしれないが、仮に建替えに係る費用を64億円とした場合、現在利息はないようなものなので、市民11万人で割ると年間一人当たり2,000円程度の負担となる。</p> <p>先ほど意見の出た補助金や企業版ふるさと納税、個人版ふるさと納税、資金調達の手段としても利用されてきているクラウドファンディングなどを活用し、どれだけ頭金を用意できるかによって、負担する</p>

	金額も変わってくるが、富士見市の財政規模から見て特段過剰な負担ではないと判断する。
会 長	<p>これまでの議論を見ていると、様々な課題や意見もあったが大半が建替えの意見であったように思う。</p> <p>そこで、ここでお諮りしたいと思うが、庁舎の整備方法は「建替え」とすべきという方は、挙手をお願いしたい。</p> <p>挙手10名（出席委員全員）</p>
会 長	<p>挙手全員で、当然過半数を超えているので、審議会として、庁舎の整備方法は建替えとすることに決定する。</p> <p>今回は、この結果に基づき事務局で作成した中間答申の案を確認することとしたい。</p>
委 員	<p>次回、報道機関への情報提供をしたらよいのではないかと。難しければ広報でもよい。</p>
事務局	<p>本日、まずは建替えという方向性をいただいた。次回、正式に中間答申としての内容を確認いただきたいと考えている。</p> <p>報道機関へのプレスリリースについては検討したいと思う。また、広報は原稿の締め切りの関係で少し先になるかもしれないが、市民や議会等への情報提供については、行わなければならないと考えている。いずれにしても、そうした情報発信・情報提供のタイミングについては、中間答申書が出てからの方がよいと考えるので、次回の会議以降になると思う。</p>
会 長	<p>中間答申の内容が決定するのは、次回の会議以降になると思うが、中間答申書は市長に渡すことになるのか。</p> <p>また、プレスリリースのタイミングについては、今回は最終的な答申ではなく、中間答申ということも踏まえ、検討すべきと思う。</p>
事務局	<p>中間答申書については、次回の会議以降に市長に渡すことになるが、修正等が入るかもしれないので、諮問のときのように市長が会議に伺うことは難しいと思う。</p> <p>また、中間答申書の内容としては、整備方法は「建替え」とすべきというもので、基金等の財源に関するご意見も出ていたので、それを踏まえた内容で作成したい。</p>
会 長	<p>そのような内容で中間答申書の案の作成をお願いしたい。</p>

事務局	<p>4 事務連絡 次のとおり次回以降の会議開催予定の案内を行った。 第3回：7月26日（月）午後3時 第4回：8月26日（木）午後3時</p>
事務局	<p>5 閉会 閉会を宣言した。</p>

署名： 会長 _____